

授業概要

春期の教養演習Ⅰをもとに、各演習（ゼミ）ごとに、教育に関する考えるべき問題を決め、グループ、または個人で追究し、発表、討論をしながら進めます。考えるための様々な方法や道筋は、教養演習Ⅰでの学びを基本とし、さらに深めていきます。

1月には、各演習（ゼミ）で追究してきた問題を他の演習（ゼミ）と合同発表会を開き、発表内容について話し合い、相互評価し、次年度の基礎演習での学びにつなげます。

授業計画

全15回の授業回数の中から下表の内容について学びます。

目的	主な学習内容
「教養演習Ⅰの振り返り」と「教養演習Ⅱ」の学びの計画立案	○教養演習Ⅰでの学びを振り返る ○各履修計画の立案 ○授業形態・諸制度（免許・資格取得の流れ）の説明
「問題追究の計画」	○各自から出された問題を吟味する ○問題の追究方法について議論する
「問題の追究」 「読んでまとめる」	○随時、問題追究の過程での疑問点を出し合い、資料収集等について意見交換を交えながら進める。 ○追究過程で読んだ資料について、文章にまとめる。
「発表準備」	○追究してきた問題について、追加資料の検討。 ○発表会に向けてリハーサル等の準備を行う。
「合同発表会」	○各演習（ゼミ）で追究してきた問題をめぐって他の演習（ゼミ）との合同発表会を開き、発表内容について話し合い、相互評価する。
「総まとめ」	○発表会を振り返り、学習面や生活面についての自己評価を行うとともに、次年度の基礎演習での学びにつなげます。

※学外活動を行う場合があります。

※演習を通して、各自の発表力を鍛えます。

到達目標

- ・教育に関する問題を発見し、自身の考えを言葉や文章で発表・報告することが出来る。
- ・資料収集と調査結果のまとめ方が理解できる。

履修上の注意

教養演習Ⅰに引き続き、全員履修します。次の2年生の基礎演習に向け、知的基礎体力（問題発見・追究・発表・評価）を鍛えます。自分で考え判断する力を磨き、充実した人生を切り拓く基盤づくりにもなります。休まず積極的に受講して、同級生や先生と交流を深めてください。

予習復習

本演習では、設定した各自の問題を追究するための資料準備を行い、ゼミの仲間に発表し、追究資料の追加、方法の修正を繰り返していきます。そのための準備をします。

評価方法

授業内での発表、友人の発表への積極的な意見、評価に参加し、さらに、「合同発表会」に協同準備することができたかなどで判定します。

テキスト

各授業担当者が初回の授業で指示します。